

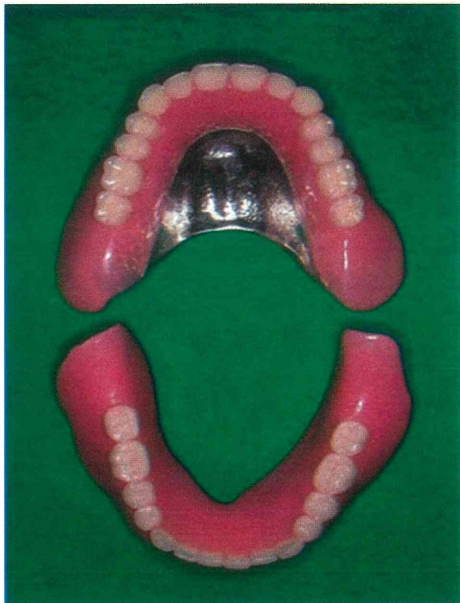
補綴系一問21

問21 60歳の男性。咀嚼時および会話時における上顎全部床義歯の脱離を主訴として来院した。脱離は新義歯装着直後からあるという。義歯の写真(A)、義歯装着時の口腔内写真(B)及び義歯安定性試験時の写真(C、D)を別に示す。

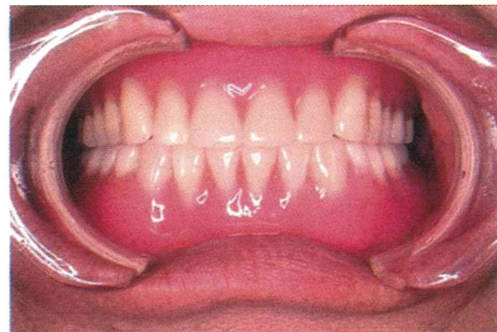
考えられる原因はどれか。2つ選べ。

- a 咬合平面の傾き
- b 上顎義歯後縁の位置
- c 前歯部の排列位置
- d 臼歯部の排列位置
- e 上顎臼歯部の床縁形態

補綴系一問21



写真A

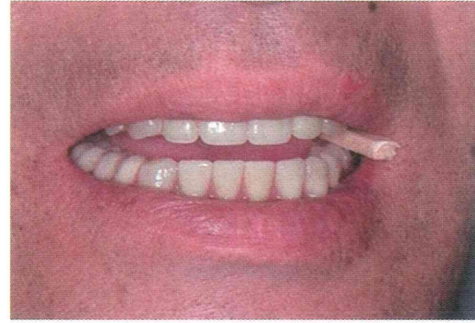


写真B

補綴系一問21



写真C



写真D

補綴系一問22

問22 21歳の女性。審美障害を主訴として来院した。半年前、交通事故で前歯を喪失したという。口腔内写真(A)とエックス線写真(B)とを別に示す。

補綴治療にあたり問題となるのはどれか。2つ選べ。

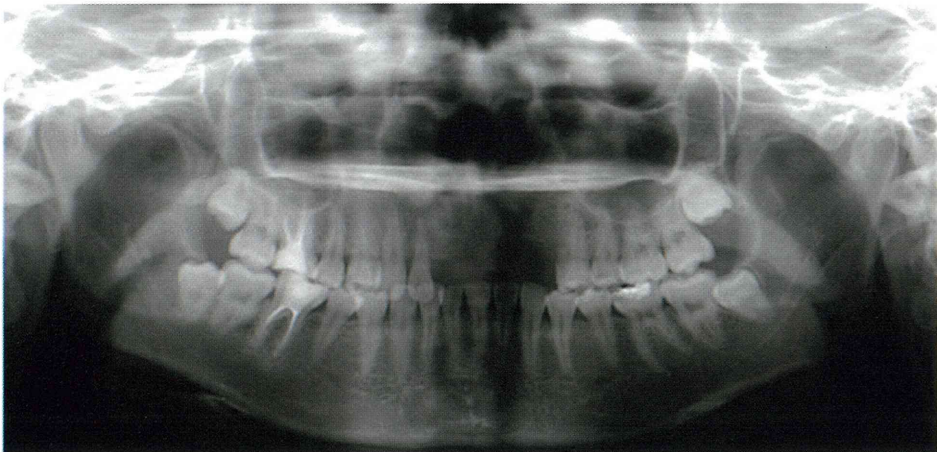
- a 口蓋隆起
- b 智歯の萌出状態
- c 対合歯との間隙
- d 切歯乳頭の位置
- e 唇側歯槽突起の欠損

補綴系一問22



写真A

補綴系一問22



写真B

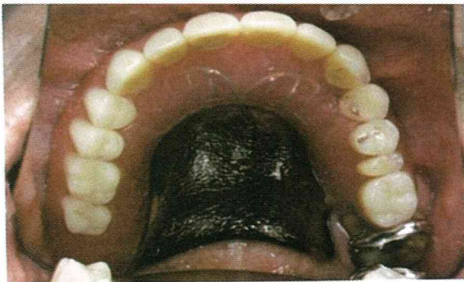
補綴系－問23

問23 78歳の男性。咀嚼時の下顎臼歯部の痛みを主訴として来院した。義歯は安定しているが、これまでも時々、同様の痛みがあったという。初診時の口腔内写真(A)、下顎義歯の写真(B)及び咬合接触検査の結果(C)を別に示す。

考えられる原因はどれか。1つ選べ。

- a レストの不足
- b 人工歯の磨耗
- c 維持力の不足
- d 咬合接触の不均衡
- e 義歯床後縁位置の不良

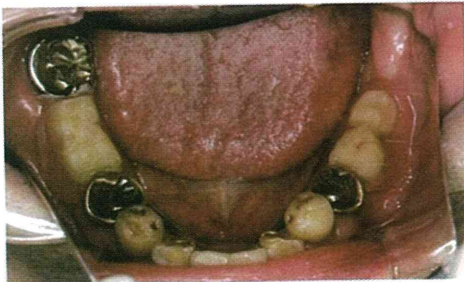
補綴系－問23



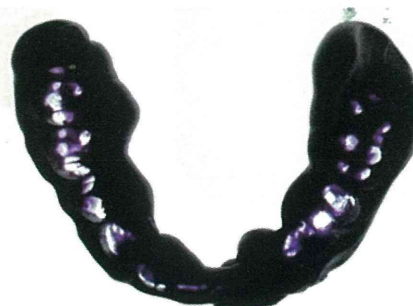
写真A



写真B



写真A



写真C

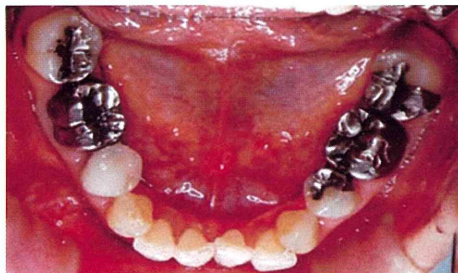
補綴系一問24

問24 35歳の女性。咀嚼障害を主訴として来院した。6か月前に歯根破折のため上顎右側第二小臼歯を抜去し、その後放置していたという。ブリッジによる治療を行うこととした。初診時の口腔内写真(A)とエックス線写真(B)とを別に示す。

ブリッジの設計で適切なのはどれか。1つ選べ。

	右上6番支台装置	右上3番支台装置	連結法
a	全部鑄造冠	硬質レジン前装冠	固定性
b	プロキシマルハーフクラウン	ジャケットクラウン	固定性
c	4/5冠	継続歯	半固定性
d	陶材焼付鑄造冠	3/4冠	半固定性
e	7/8冠	ピンレッジ	可撤性

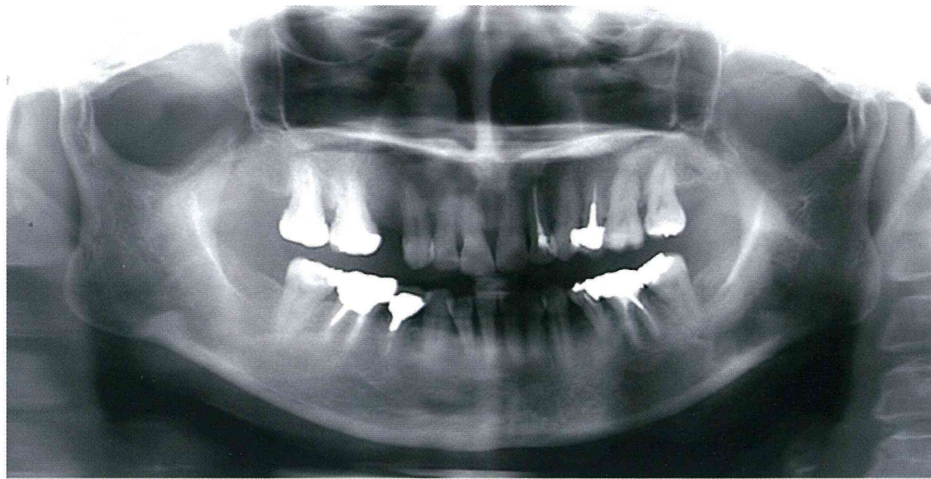
補綴系一問24



写真A



補綴系一問24



写真B

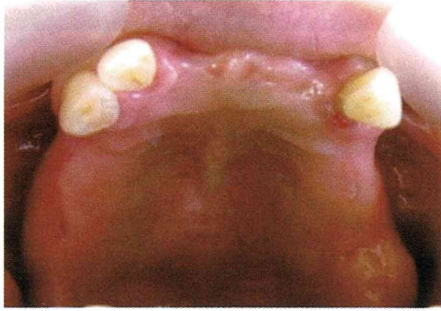
補綴系一問25

問25 76歳の女性。上下顎部分床義歯を製作することとした。口腔内写真(A、B、C)を別に示す。

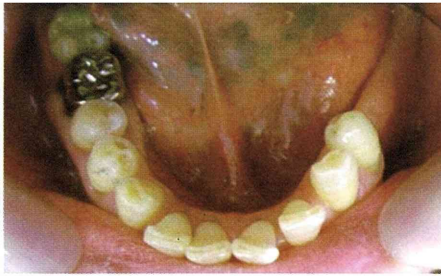
考慮するのはどれか。2つ選べ。

- a 咬合高径を決定する。
- b 上顎義歯床面積を小さくする。
- c ゴシックアーチ描記法を用いる。
- d 上顎前歯部は無圧印象を行う。
- e 上顎義歯にはレストを付与しない。

補綴系一問25



写真A



写真B



写真C

補綴系一問26

問26 64歳の女性。咀嚼時の義歯の維持不良を主訴として来院した。新義歯装着時の写真(A)と口腔内写真(B、C)とを別に示す。

写真Cの状況を悪化させないための患者指導として適切なのはどれか。

2つ選べ。

- a 義歯安定材を使用する。
- b 前歯部でものを噛まない。
- c 食後に義歯を清掃する。
- d 定期的なリコールに応じる。
- e 就寝時には下顎の義歯を外す。

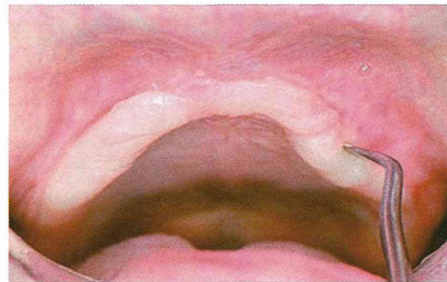
補綴系一問26



写真A



写真B



写真C

補綴系一問27

問27 56歳の男性。上顎義歯の破折と審美障害とを主訴として来院した。床義歯の上顎右側犬歯部は以前に破折していたが、破折部を保管中に紛失したという。模型を製作して人工歯の追加と義歯破折部の修理を行うこととした。破折した義歯の写真(A)と口腔内写真(B)とを別に示す。

行うべき手技を表に示す。

- | |
|----------------|
| ① 咬合採得 |
| ② 上顎の印象採得 |
| ③ 下顎の印象採得 |
| ④ 破折義歯の仮接合 |
| ⑤ 破折義歯の口腔内への設置 |

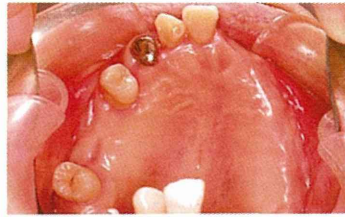
適切な順番はどれか。1つ選べ。

- a ③→⑤→④→②→①
- b ③→⑤→②→④→①
- c ⑤→②→③→①→④
- d ⑤→④→①→②→③
- e ②→③→⑤→④→①

補綴系一問27



写真A



写真B

補綴系一問28

問28 71歳の男性。上下顎全部床義歯の製作を希望して来院した。診療中の写真(A)を別に示す

次に行うのはどれか。1つ選べ。

- a 最終印象
- b 人工歯選択
- c 表示線の記入
- d 水平的顎位の決定
- e 垂直的顎位の決定

補綴系一問28



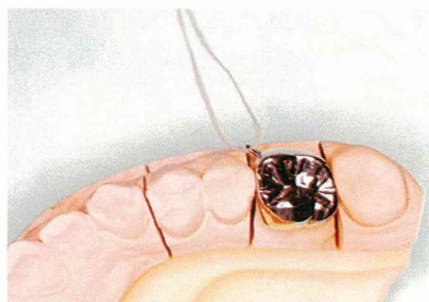
写真A

補綴系一問29

問29 40歳の女性。上顎左側第一大臼歯部の食片圧入を主訴として来院した。新製した鑄造冠(A)の写真を下に、合着時に使用する器具の写真(B)を別に示す。

用具使用の手順で正しいのはどれか。1つ選べ。

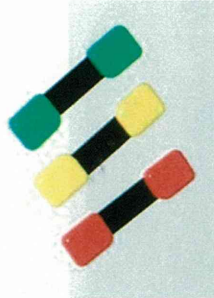
- a ア→ウ→エ→イ
- b イ→ウ→エ→ア
- c ウ→エ→ア→イ
- d エ→ウ→イ→ア
- e ア→エ→イ→ウ



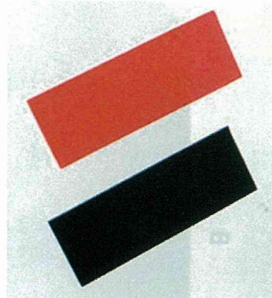
写真A

補綴系一問29

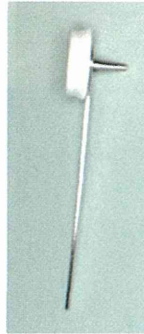
ア



イ



ウ



エ



写真B

補綴系一問30

問30 68歳の男性。義歯不適合による咀嚼障害を主訴として来院した。部分床義歯製作中のある過程の写真を下に示す。

このときに行うのはどれか。すべて選べ。

- a 筋圧形成
- b 顎間関係の記録
- c 人工歯の色調選択
- d 仮想咬合平面の設定
- e 咬合堤の唇側豊隆の設定



補綴系－問31

問31 40歳の女性。下顎右側第二小白歯のポーセレンジャケットクラウンを製作することとした。支台歯の口腔内写真(A)とポーセレンジャケットクラウンの写真(B)とを別に示す。

支台歯とポーセレンジャケットクラウンとに共通して行うのはどれか。1つ選べ。

- a スズ電析処理
- b フッ化水素酸処理
- c メタルプライマー
- d シランカップリング処理
- e デンティンプライマー処理

補綴系－問31



写真A



写真B

補綴系一問32

問32 73歳の女性。全部床義歯製作中の側貌写真を下に示す。ある基準平面に平行に仮想咬合平面を決定することとした。

この基準平面の決定に用いる点はどれか。2つ選べ。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ



補綴系一問33

問33 60歳の男性。咀嚼障害を主訴として来院した。部分床義歯を製作することとした。フレームワークを試適したところ、支台装置は適合したが、前歯部舌側歯肉に圧迫感を訴えた。口腔内写真(A)、口腔内と模型とにフレームワークを装着した写真(B)及び適合試験の写真(C)を別に示す。

原因として考えられるのはどれか。1つ選べ。

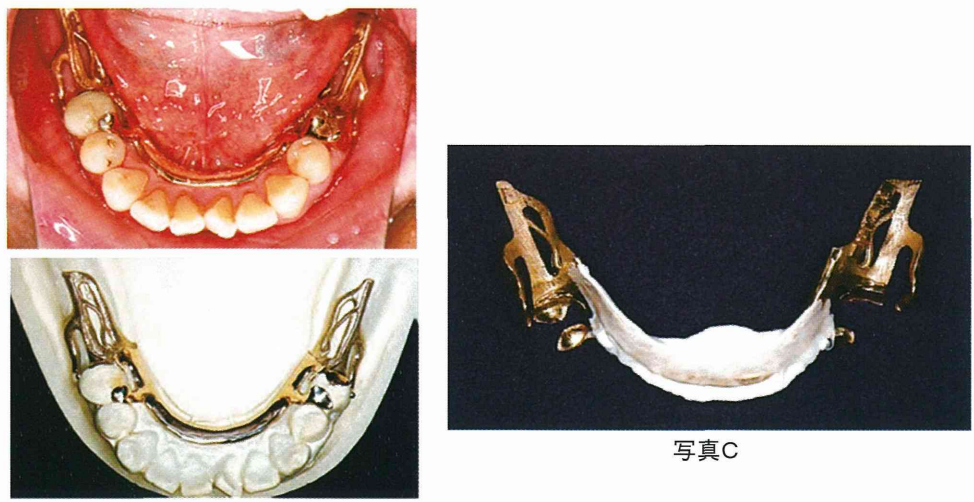
- a 印象時に加圧しすぎた。
- b 印象材の撤去が早かった。
- c 咬合採得が不適切であった。
- d 鋳造時にオーバーヒートした。
- e 印象材が個人トレーからはがれた。

補綴系一問33



写真A

補綴系一問33



写真B

写真C

補綴系一問34

問34 45歳の男性。上顎右側第二小臼歯欠損による審美障害を主訴として来院した。陶材焼付ブリッジによる治療を行うこととした。装着後の口腔内写真を下に示す。

最も低い温度で行うのはどれか。1つ選べ。

- a ろう付け
- b 右上6番の鑄造
- c 右上4・5番の鑄造
- d 陶材の焼成
- e グレージング

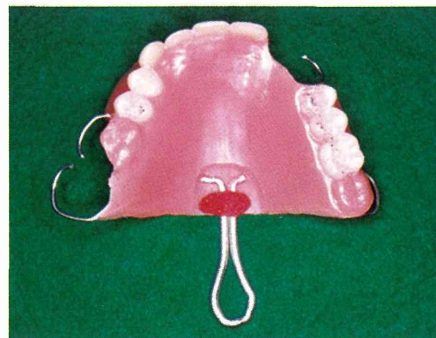


補綴系一問35

問35 76歳の女性。脳卒中発症後、以前から使用していた義歯にある装置を追加することとした。技工中の義歯の写真を下に示す。

追加した装置によって改善される機能を評価する検査はどれか。2つ選べ。

- a 水飲み検査
- b 咬合力検査
- c 発語明瞭度検査
- d ブローイング検査
- e 開口量・限界運動範囲の検査



補綴系一問36

問36 65歳の女性。歯の欠損による咀嚼困難を主訴に来院した。初診時の口腔内写真(A)を別に示す。残存歯には特に問題がなかったため、上下顎部分床義歯を製作し咀嚼機能の改善を図ることとした。

咬合採得時に行う操作で適切なのはどれか。すべて選べ。

- a フェイスボウトランスファー
- b ゴシックアーチ描記
- c 咬合床の使用
- d 安静空隙量の測定
- e 臼歯部人工歯の選択

補綴系一問36



写真A

補綴系－問37

問37 43歳の女性。上顎前歯部の修復物の破損による審美性の低下を主訴に来院した。上顎右側側切歯，中切歯および左側中切歯部に硬質レジン前装冠（連結冠）が装着されており，上顎右側中切歯の前装部が破損していた。口腔内診察およびエックス線検査により，当該部位の歯，歯周組織に著明な問題がないことを確認したため，修復物の補修を行った。処置前(A)および処置後(B)の口腔内写真を別に示す。

補修に際して行ったのはどれか。すべて選べ。

- a シェードの決定
- b モールドの決定
- c メタルプライマー処理
- d シランカップリング処理
- e 歯質のエッチング処理

補綴系－問37



写真A(処置前)



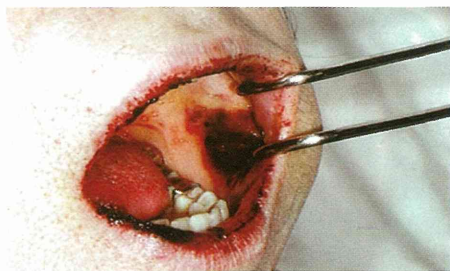
写真B(処置後)

口外系一問38

問38 56歳の女性。口腔内からの出血を主訴として来院した。前日の夕刻から、手指や口腔粘膜に出血斑が発生し消えないという。初診時の口腔内写真(A)と手指の写真(B)とを別に示す。血液検査の結果を示す。

赤血球	: 448万/ μ l
ヘモグロビン	: 13.7g/dl
ヘマトクリット	: 41.4%
白血球	: 3,800/ μ l
血小板	: 8,000/ μ l
好中球(桿状核)	: 4%
〃(分葉核)	: 50%
好塩基球	: 3%
好酸球	: 3%
単球	: 5%
リンパ球	: 35%
出血時間	: 15分(基準1~3)
プロトロンビン時間	: 12秒(基準11~13)
Rumpel-Leede試験	: 陽性

口外系一問38



写真A



写真B

診断名はどれか。1つ選べ。

- a 再生不良性貧血
- b 急性骨髄性白血病
- c 播種性血管内凝固(DIC)
- d Plummer-Vinson症候群
- e 特発性血小板減少性紫斑病(ITP)

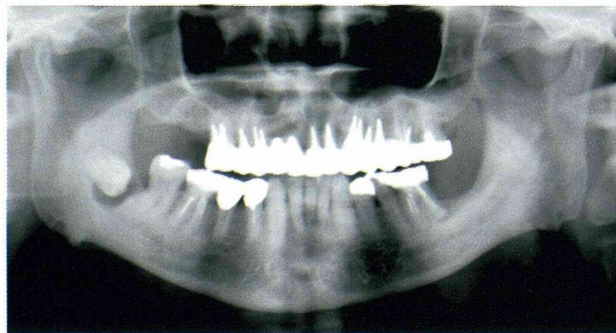
口外系－問39

問39 62歳の男性。下顎右側智歯部の違和感を主訴として来院した。3か月前から違和感に気付いていたが放置していた。昨日、他院でエックス線検査を受け、異常を指摘されたという。同部の歯肉に炎症症状を認めない。初診時のエックス線写真(A)と摘出物のH-E染色病理組織像(B)とを別に示す。

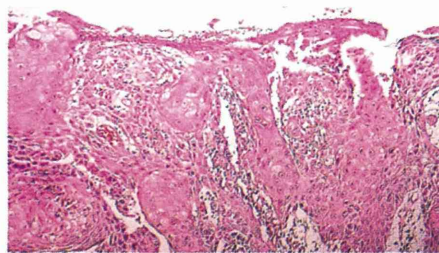
診断名はどれか。1つ選べ。

- a 含歯性嚢胞
- b 扁平上皮癌
- c エナメル上皮腫
- d 角化嚢胞性歯原性腫瘍
- e 石灰化嚢胞性歯原性腫瘍

口外系－問39



写真A



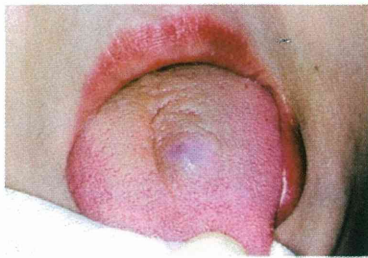
写真B

口外系一問40

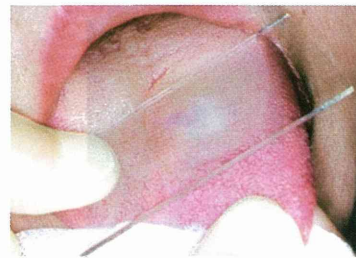
問40 54歳の女性。舌の腫脹を主訴として来院した。幼少期から気付いていたが、機能障害や疼痛がないため放置していたという。弾性軟である。初診時の口腔内写真(A)と検査時の写真(B)とを下に示す。

次に行う検査はどれか。1つ選べ。

- a PET
- b MRI
- c 生検
- d 細菌検査
- e 穿刺吸引細胞診



写真A



写真B

口外系一問41

問41 52歳の女性。下顎右側第三大臼歯部の違和感を主訴として来院した。智歯周囲炎の診断で下顎孔伝達麻酔下に右下8番の抜歯を行った。術後2週を経て、抜歯創の治癒状態は良好であったが、術後に生じた顔面皮膚の知覚鈍麻が持続しているという。顔貌写真を別に示す。

適切な対応はどれか。2つ選べ。

- a 自家神経移植術
- b 星状神経節ブロック
- c カルバマゼピン投与
- d 低出力レーザー照射
- e 頭蓋内三叉神経減圧術